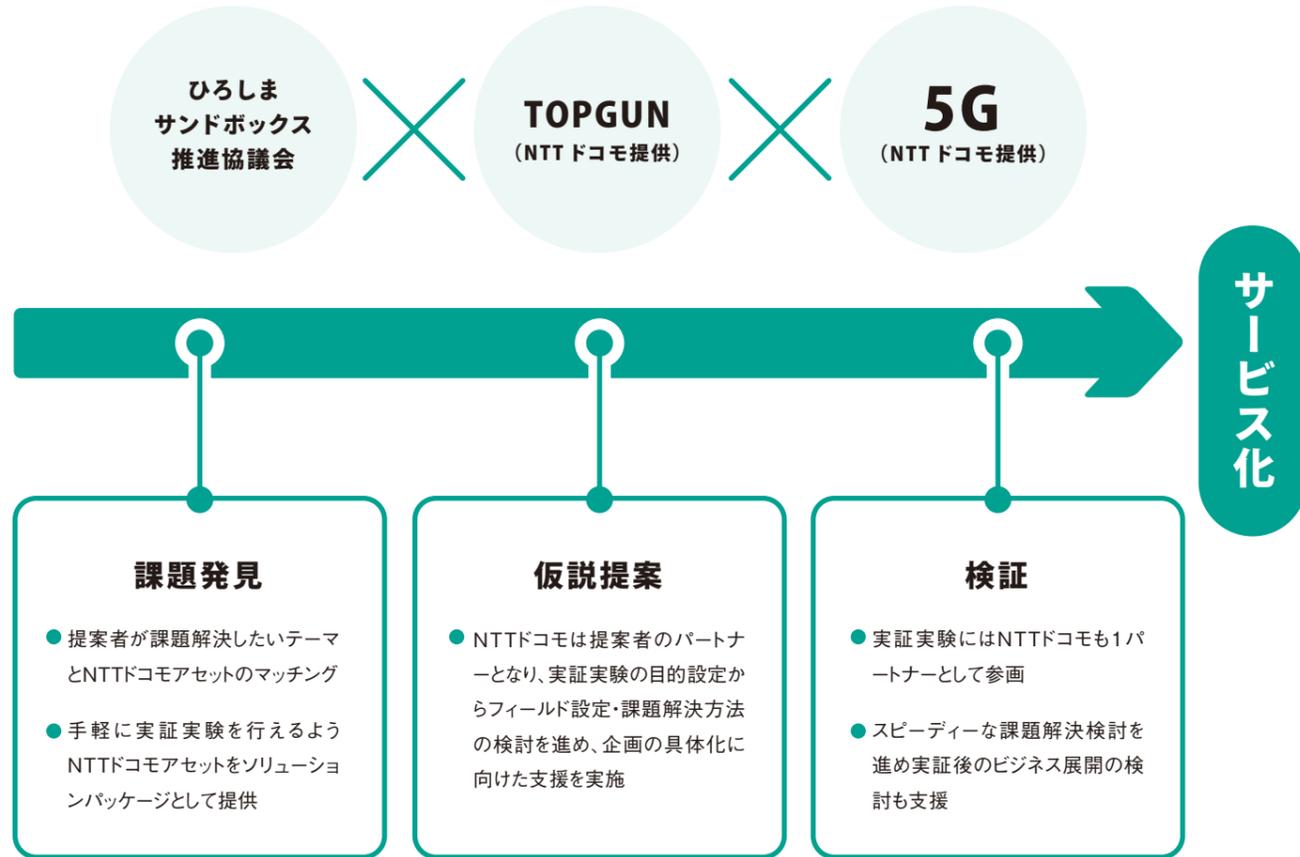


5Gとトップガンを活用した新サービスの創出

# PITCH TRIAL

NTTドコモのアセット「5G」、「TOPGUN(トップガン)」を活用し、ひろしまサンドボックス推進協議会会員のアイデア等を起点に、実証実験を通じて、広島発の新たなソリューション・サービスの創出を目指します。



## 各コンソーシアムの取組

### 【Carp Neo Viewing事業】

- コンソーシアムメンバー
- 博報堂DYメディアパートナーズ
  - RCC中国放送

### 【安心VRラボ】

- コンソーシアムメンバー
- 富士通

### 【通所介護施設向け送迎効率化システムの提案】

- コンソーシアムメンバー
- イノテック
  - 社会福祉法人 信々会

## NEO LIVE VIEWING

博報堂DYメディアパートナーズとRCC中国放送はこれまでもたくさんの協業を行っている関係性の2社。カーブという広島の地元コンテンツの可能性を5Gを活用することで広げる実証実験を行った当日、その感想と取り組みを通じて得られたことについて伺った。

### チャレンジャー

- 博報堂DYメディアパートナーズ
- RCC中国放送

### 広島県民の“諦め”を新しい体験に変えたかった

デジタル全般に言えることですが、コピーすることや、遠隔で起こっていることをよりリアルに近づけていくのは、ビジネスモデルを検討する上で王道の考え方です。その考え方を転用し、カーブの試合観戦というアナログ体験をデジタルコンテンツに変換することで、日本全国ひいては世界に発信できるものになりたいと考えました。(安島氏)



われわれはテレビ局なので、スポーツコンテンツをどうしても「視聴」という観点で考えてしまいます。5Gの技術を使って「視聴」を「体験」に近づけていくという発想は、広島県民がチケットを買わずに観戦を諦めている現状に対する博報堂DYメディアパートナーズさんならではの視点であり、是非実現に結び付けたいと考えました。(船越氏)

### 県内外の企業という立場の違いが推進力になったパートナーシップ

実証実験を迎えるまでには広島東洋カーブ様との調整など、RCC中国放送さんには色々ご対応頂きました。外から見ている我々が思い描く理想像を純粋にオーダーし続けたのですが、それを受け入れ、まっすぐ応え続けて下さったRCC中国放送さんがパートナーでなければ今回の実証実験は成立していませんでした。(安島氏)

もちろん、地元でビジネスをやっている強みはあるのですが、当たり前になって、見えなくなっていることもあります。そういった意味で、安島さんたちからの純粋なオーダーの数々は非常に大きな刺激になりました、ブレイクスルーを起こすためには必要な視点だったと確信しています。(船越氏)

### 5Gで届けられる圧倒的な情報量による新しい没入体験



実証実験を通して、思っていた以上に新鮮で新しい野球観戦の体験が提案できたと感じています。例えば高性能なマイクのおかげでホームランとヒットの打撃音の違いを感じることができました。これまでの野球中継とは全く違う観戦が可能になり、楽しみ方が広がると感じています。(安島氏)

これまでのテレビ中継だとボールを中心に映像を見せるのですが、今回はボールを取り巻く様々な状況を超広角カメラで一度に捉え、その時にその空間で起こっていることを映像情報として届けられるので、全く新しい臨場感を体感することができました。こういった臨場感はNTTドコモ様からご提供いただいた1台で8K相当の画像が撮影できるカメラの映像、そして64チャンネルの收音機能を持ったバイノーラルマイクを使って收音した膨大な音声情報を5Gを利用して転送することで実現しました。本当に貴重な体験であったと思います。(船越氏)



### ひろしまサンドボックスは大きなドキドキと小さなワクワクが形になる事業



実証実験についてはほとんど告知していないにも関わらず、2日で800名を超える方からの観戦申し込みをいただき、広島の方々の広島東洋カーブ様に対する関心の高さに驚きました。今後はスタジアムとのインタラクティブ性を持たせるためにも、スタジアムのスマート化にチャレンジしていけたらと考えています。ひろしまサンドボックスは、成し遂げる意思と情熱があれば強力に後押しをしてくれる事業です。我々は東京の企業ですが、このような新しいチャレンジで広島の他の企業様とタイアップできる機会があれば是非これからも積極的に参画していきたいと考えています。(安島氏)

私は実証実験を終えた今でも技術的なことは、正直分からないことだらけです。ただ、そういった状態でも一歩踏み出す後押しをしてくれる事業がひろしまサンドボックスだと実感しています。分からないことがあったとしても、とにかくチャレンジすることをお勧めしたいです。(船越氏)

### 取材協力

博報堂DYメディアパートナーズ 安島氏  
RCC中国放送 船越氏

